

11月23日(金・祝)～12月25日(火) 満月セレクト

— 今回のセクター ご紹介 —

Music Selector : 土屋 光弘 (ラジオ番組制作ディレクター、プロデューサー、選曲家)



土屋 光弘

大学卒業後、大手レコードショップのジャズ・カウンターで3年間勤務。その後、ラジオ番組制作会社へ転職、現在フリーランスで、都内FM、AM、CS局を中心に番組を制作、プロデュース、イベント、店舗BGM等の選曲を担当。歌謡曲、J-POPから洋楽全般、映画音楽、ジャズ、ワールド・ミュージック、現代音楽、落語、効果音など、メジャーからマイナーまで、音楽というよりも「音」に関するあらゆるジャンルの選曲、制作、プロデュースを行う。

今回のセレクトCD

1.



Dom La Nena / Soyo (Six Degrees / 657036121720)

ブラジル出身、フランスとアルゼンチンで育ったシンガー・ソング・ライター/チェロ奏者、ドム・ラ・ネナが2015年にリリースしたアルバム。幼い頃から、本格的にチェロを学び、パリを拠点に、ジェーン・バーキンなど、多くのアーティストと共演、2013年にソロ・デビュー。アンニュイなヴォーカルと、ボサノヴァ、シャンソン、タンゴなど、さまざまなジャンルがミックスされた独特の世界観が持ち味。アーティスト名の「LA NENA」は「少女(LA NINA)」という意味のスペイン語の方言。

2.



Nina Miranda / Freedom Of Movement (Six Degrees / 657036126725)

ブラジル音楽とエレクトロニカの融合が、心地良いグルーヴを作り出すヴォーカリスト、ニナ・ミランダが2017年にリリースしたファースト・ソロ・アルバム。ブラジル出身だがイギリスのロンドンに渡り、1990年代後半から、SMOKE CITY、DA LATAなど、イギリス発のブラジルアン・クラブ・ミュージック界の人気ユニットで活躍。今作はブラジル音楽をベースに、ダンス、エレクトロニカ、ソウル、ファンクなど、楽曲ごとにサウンドが変化、都市生活者の日常にフィットする洗練された作品になっている。

3.



Rafiki Jazz / Har Dam Sahara (Riverboat / TUGCD-1106)

ラフィキ・ジャズは、イギリス人ミュージシャンと、イギリスへ難民として渡ったさまざまな国のミュージシャンが結成した多国籍音楽集団。ブラジル、西アフリカ、インド、カリブ、アラブなど、各国の伝統楽器をバックに、イスラエル出身と、パキスタン系の宗教音楽スーフィーを歌う2人のヴォーカリストが参加、広大な大陸をイメージさせるエキゾチックな音楽を奏でる。グループのコンセプトは「複雑な世界とその中に美しいものを表現する」というもので、音楽を通じて、人間本来が持つ、平和で安らぎを願うメッセージを発信している。

4.



Julie Fowles / Alterum (Machair / MACH-008)

スコットランド系フォーク音楽界を代表する女性シンガーで、2012年に公開されたディズニー / ピクサー制作のアニメ映画「メリダとおそろしの森」の主題歌を歌い、世界的にその名を知られるようになったジュリー・フォウリスの2017年の作品。ギター、フィドル、ブズーキ、チェロなどのアコースティック楽器と、彼女の生まれ故郷であるノース・ウエスト島の言葉であるゲール語を中心とした美しい楽曲で、全編にわたって冬の日の朝のような透明感のある世界が楽しめる。

5.



Blossom Dearie / Give Him The Ooh-La-La (Universal / UCCU-5879)

可愛らしい容姿と甘えたようなヴォーカル、そして、欧州の香り漂うピアノ演奏で人気を集めたヴォーカリスト/ピアニスト、 Blossom Dearie がアメリカの名門ジャズ・レーベル Verve Records から1958年にリリースした作品。ハーブ・エリス(ギター)、レイ・ブラウン(ベース)というウエスト・コースト・ジャズ界の名手をバックに、ラヴ・ソングをキュートに歌っている。ジャズの持つ難しいイメージを払拭する、軽いタッチとポップな雰囲気、入門者にもオススメできる女性ジャズ・ヴォーカルの名盤。